

綾里の教振

綾里地区教育振興運動
実践協議会通信
2022・1発行
文責：綾里小 鈴木

綾里地区の小学生児童（4～6年生）と中学生生徒（1～3年生）を対象に、12月13日（月）～24日（金）にスマホ等の実態調査を実施しました。その結果をお知らせします。

【回答者数】

小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
8名	16名	17名	17名	10名	10名	78名

*「スマホ等」とは、スマートフォン・携帯電話・タブレット・パソコン・ゲーム機（インターネットに接続できるもの）を指します。

綾里の子どもたちの実態

1 スマホ等の所持

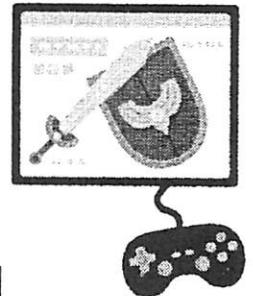
持っている	持っていない
69名	9名
88%	12%

結果から児童生徒の所持率が非常に高いことがうかがえます。

2 1日の利用時間

	1時間未満	1～3時間	3～5時間	5時間以上
月～金曜日	33.3%	52.2%	7.2%	7.2%
土・日などの休日	17.4%	31.9%	33.3%	17.4%

休日になると、利用時間も増加することが結果から分かります。休日の5時間以上の利用者の割合の増加も気になるところです。



3 何時まで「スマホ等」を利用をするか？

	夜9時まで	夜9～10時	夜10時～12時	夜12時以降
月～金曜日	49.3%	30.4%	17.4%	2.9%
土・日などの休日	40.6%	30.4%	24.6%	4.3%

2の調査結果同様、休日の利用が深夜にまで及び利用者の割合が増加していることが分かります。休日明けの登校日への影響が気になるところです。

4 週1回以上しているアプリ等 ※複数回答（延べ人数）

通話	10名
メール	11名
情報検索	27名
LINE・Twitter・Instagram等のSNS	33名
学習アプリや学習のための動画サイト	12名
マンガ・小説	17名
YouTubeなどの動画サイト（学習用を除く）	56名
懸賞の応募・ショッピング・ネットオークション	3名
その他（アニメ）	1名

LINE等のSNSや動画サイトの利用者が多くいることが分かります。学習以外に、情報発信や娯楽等での活用が主となるようです。

5 アプリ等でつながっている相手 ※複数回答（延べ人数）

家族	学校の友だち	別の学校の友だち	ネットで知り合った人（会ったことはない）	ネットで知り合った人（会ったことがある）	いない
29名	34名	19名	7名	1名	14名

「家族」や「友だち」とのつながりが多いものの、中には「ネットで知り合った人」ともつながりがある利用者が見られます。友だちや知り合いの幅を広げるツールとなっていることがうかがえます。

6 オンラインゲームの利用時間 ※オンラインゲームをしている児童・生徒のみ回答

	1時間未満	1～2時間	2～3時間	3～4時間	4時間以上
月～金曜日	52.4%	35.7%	4.8%	4.8%	2.4%
土・日などの休日	37.5%	40%	10%	5%	7.5%

オンラインゲームに関しても、休日に利用時間が増加している実態がうかがえます。休日の「4時間以上」の利用者の割合も気になるところです。

7 オンラインゲームをする時の課金のルール

金額を親に相談	ルールはない	課金はしない
25%	11%	64%

課金をしない回答が半数以上占めました。多くの利用者は、課金に関しては親に相談するなど慎重であることが分かります。一方、「ルールがない」ことにより、課金をし放題、という状況になってはいないでしょうか。

8 オンラインゲームでの課金額（1ヶ月平均）※課金する児童・生徒のみ回答

1,000円未満	1,000～3,000円
71%	29%

課金する額は、1,000円未満の割合が多いものの、1ヶ月平均とみた場合に、課金額に関するこの結果を妥当と考えるかどうかについては、考えていかなければならないところかと思えます。

9 スマホ等を利用しているために、時間を減らしたり、やめたりしていること

ある	ない
13名	56名
19%	81%

10 時間を減らしたり、やめたりしていることは何か ※複数回答（延べ人数）

睡眠時間	4名
勉強時間	7名
テレビを見る時間	8名
読書をする時間	3名
家族と話す時間	2名
友だちと会う時間	1名
食事やお風呂など、日常生活の時間	4名
その他（生活態度の悪さ）	1名

「睡眠時間」といった体に影響を及ぼすことや普段の「日常の時間」を減らしている利用者も見られる点については、注視しなければならぬと思われま。 「勉強時間」を削ることでの成績への影響も心配されます。

11 スマホ等を利用する際の悩みや心配事

ある	ない
16名	53名
23%	77%

12 どんな悩みや心配事が ※複数回答（延べ人数）

やりとりを終わらせることができない	5名
すぐに返事しなければならない	3名
悪口が書かれていないか心配	10名
返事がないと不安	3名
寝不足	4名
勉強に集中できない	7名
終わらないとイライラしたり、減らすことができない	4名
コロナのための利用時間が増え、減らすことができない	3名
その他（SNSを利用してみたいが、ハブられるのが怖い）	1名

「悪口が書かれていないか心配」する回答が一番多く、不安を抱えながら利用しているという実態が見られます。また、相手とのやりとりに対する困り感を持っている利用者の回答も見られました。

13 ネット等を利用してのトラブル

ある	ない
10名	59名
14%	86%

14 どんなトラブルか ※複数回答（延べ人数）

悪口や嫌なことを書き込まれた	4名
メールなどが原因でけんかになった	1名
しつこくメールを送られた	2名
オンラインのし過ぎで成績が下がった	3名
オンラインのし過ぎで遅刻や欠席をした	3名
オンラインのし過ぎで注意されて家族に暴言暴力をした	2名



回答者数は、それぞれの項目においてさほど多くはないものの、大きなトラブルに発展しかねない回答であると捉えます。

15 スマホ等を利用して、次のようなことがあるか

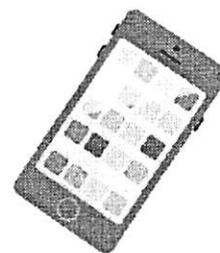
※複数回答（延べ人数）

ネットに夢中になっていると感じる	28名
満足するために、ネットの時間をだんだん長くしたいと感じる	7名
ネットの時間を減らしたり、やめようとしたり、落ち着かなかったり、またはイライラしたりした	8名
思っていたよりも長い時間ネット利用をしている	25名
ネットのために大切な人間関係や学校のことを台無しにしたり危うくしたりすることがある	2名
ネットに熱中していることを隠すために、家族、学校にウソをついたことがある	1名
不安、落ち込みといった嫌な気持ちから逃げるためにネットを利用する	8名
ない	29名

「ネットに夢中になっていると感じる」「思っていたよりも長い時間ネット利用をしている」と回答する利用者が多いことから、知らず知らずのうちに利用時間を超過している実態に気付かないことが多いのではないかと考えられます。

16 スマホ等を利用する時の家庭のルール

ある	ない
53名	16名
77%	23%



17 どんなルールか ※複数回答（延べ人数）

利用できる時間	37名
利用できる場所	14名
利用料金	14名
書き込み	8名
知らない人には連絡しない	25名
ルールを守らなかった時の約束	20名
その他 ・スマホ管理 ・課金をしない ・目の休憩を取る ・有料アプリを使わない ・親のものなので断ってから使う	5名



多くの家庭では、「スマホ等」利用にあたってのルールがあることが確認できました。その中で「利用時間」に関するルールが最も多く、時間については注意深く見守っていただいている実態がうかがえます。

その他の回答にも書かれてあったように、各家庭で細かなルールがもっと見られるかもしれません。

全体的に言えることは、親の目を行き届かせるよう、各家庭で考えていただいているということです。

【調査結果から】

今回の調査から、「スマホ等」の所持率の高さがうかがえました。そのため、スマホ等を「持たせない」ことではなく、スマホ等と「どのように付き合っていくか」という、各自所持していることを前提とした取組が必要となっている現状を再確認しました。

調査結果では、大きなトラブルに発展している事例や、利用時間の超過による心身への悪影響等に関しての割合は低いものの、スマホ等やネット等を利用して起こる様々なトラブルについては確認できました。ごくわずかな回答ではあっても、大きな問題と捉え、これが今後大きな影響へと発展しないように、個々のルール、そして家族のルールをもう一度見直す必要があると感じます。

子どもたちの生活態度や心身等のわずかな変化を見落とさず、各家庭や地域で支え見守ることを継続したいと思います。

また、今回の調査の対象児童は小学校4年生以上でありましたが、「スマホ等」利用に関しては、低年齢化が進んでおります。今回アンケート調査対象外であった児童のご家庭でも、今回の結果をご覧になりながら、子どもたちを取り巻く環境の見直しを図るきっかけとしていただきたいと思います。